

崖東夜話 第四夜（2023）「聖なる空間のデザイン思想」を開催

湯島神田上野地域の六つの文化・宗教施設による共同イベント第4弾

東京文化資源会議（会長：吉見俊哉 東京大学教授）は、六つの文化・宗教施設（アッサラームファンデーション、寛永寺、神田明神、ニコライ堂、湯島聖堂、湯島天満宮）と連携し、異なる思想倫理宗教を率直に理解し合い、新しい精神性や宗教性のこれからのあり方を考える共同イベント「崖東夜話」を2020年、2021年、2022年に引き続き、2023年10月～2024年1月日にかけて開催いたします。今年のテーマは「聖なる空間のデザイン思想」です。

詳細・申込はホームページからどうぞ <https://gaitoyawa.jp>

東京文化資源会議社寺会堂プロジェクトは、都心北部の宗教及び精神文化諸施設を繋ぎ、この地域の文化資源が織り成すスピリチュアル・ランドスケープを浮上させようと考え、約8年前に始まりました。その取り組みの柱のひとつである共同イベント「崖東夜話」は、これまで「音の響き」「祈りとやすらぎ」「食と礼」をテーマに集まりを重ね、今年が4年目となります。

今回は、これまで「音」「祈り」「食」といった私たちの身体に近いところに向けてきた関心を、むしろそれらを取り巻く「聖なる空間」に広げ、各施設の建築・空間設計に焦点をあてた議論を展開していきたいと考えます。そこでは当然ながら、建築の内部空間だけではなく、「聖なる空間」に至る扉や敷居、門、階段、参道等の境界のランドスケープ・アーキテクチャを論じていきます。

開催期間：2023年10月～2024年1月（全6回）

主催：アッサラームファンデーション、寛永寺、神田明神、東京文化資源会議、ニコライ堂、湯島聖堂、湯島天満宮



崖東夜話第四夜プログラム第1部

シンポジウム「聖なる空間のデザイン思想：建築から地域のスピリチュアル・ランドスケープへ」

- 定員：60名
- 日時：2023年10月6日（金）午後7時～9時
- 場所：御茶ノ水ソラシティカンファランスセンター2階 テラスルーム

● パネリスト

- 対中秀行 ニコライ堂主任司祭
鳥居繁 神田明神権禰宜
藤井恵介 東京大学名誉教授（建築史）
布野修司 滋賀県立大学名誉教授（建築・都市研究）
宮部亮侑 寛永寺執事
ターリク・ファタヤーニ アッサラームファンデーション・ディレクター
吉見俊哉 國學院大学教授（社会学）・東京文化資源会議会長：司会
他に湯島天満宮と湯島聖堂から各1名参加の予定

第2部：講演と施設見学 各施設20～30名となります。

- 湯島天満宮：2023年10月11日（水）午後5時半～7時半 定員：30名 場所：参集殿、本殿
- 神田明神：2023年10月23日（月）午後5時半～7時半 EDOCCO文化交流館4階 令和の間 講師：宇野求（東京理科大学嘱託教授）
- アッサラームファンデーション：2023年11月5日（日）午後4時半～7時 定員：20名 場所：アッサラームファンデーション マスジド4階 講師：アッサラームファンデーション代表 モハメド ナズィール、同ディレクター ターリク ファタヤーニ ※カリグラフィー体験と軽食が付きます
- 寛永寺：2023年11月15日（水）午後3時半～5時半 定員：20名 場所：当日15時20分までに寛永寺根本中堂前にご集合ください。 講師：寛永寺執事 宮部亮侑 ※ 解説を交えながら上野公園内をめぐるため途中参加はできません ※ 解散場所はJR上野駅付近を予定しています
- 湯島聖堂：2024年1月8日（月・祝）午後2時～3時半 場所：斯文会館講堂 ※ 恒例行事「湯島聖堂文化講演会」との合同開催です ※ 大成殿10時～16時開放、構内9時半～16時散策自由
- ニコライ堂については改めて見学会を設定しますが、今回の応募の対象外となります。

参加申込

第1部共同イベントと第2部4施設のイベント合わせて6回分を、各回分と通しの2種類に分け、Peatixを通じて申し込みいただけます。東京文化資源会議会員は割引価格となります（会員へお知らせした割引コードが必要です）。（詳細・申込はホームページからどうぞ <https://gaitoyawa.jp> ）

<一般参加者>

1回券 各2,000円

6回通し券 5,000円

<東京文化資源会議会員>

1回券 各1,000円

6回通し券 2,000円





第三夜（2022）の様子

東京文化資源会議のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/25172

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東京文化資源会議

事務局 info@tcha.jp